

平成20年度戦略的基盤技術高度化支援事業採択プロジェクト(3件)

	研究実施場所	採択案件のテーマ名	特定研究開発等の要約	主たる技術	事業管理者名	(法認定事業者)	研究実施者(研究メンバー)
1	山形県	超微細組織鋳鉄材料の創成と鋳鉄品の高機能化に係る技術の開発	自動車部材の耐熱性向上等川下産業の鋳鉄部品に係る多様なニーズに応えるため、球状黒鉛鋳鉄中の黒鉛を「より細かく、より多く、より均一に」晶出させるための製造技術を開発すること等によって、剛性や靱性の向上、耐摩耗性の向上及び耐熱性の向上を低コストで実現することを目的とする。	鋳造	財団法人山形県産業技術振興機構	(株)ハラチュウ、カクチョウ(株)、(株)柴田製作所、(有)日下レアメタル研究所	(株)ハラチュウ、カクチョウ(株)、(株)柴田製作所、(有)日下レアメタル研究所、日産ライトトラック(株)、(株)小松製作所、日野精機(株)、山形県工業技術センター、山形県立産業技術短期大学校、岩手大学、秋田大学
2	岩手県	微細形状を有するプラスチック成形用金型へ高離型性を付与する薄膜形成技術の開発	光ディスク用レンズ等の透明樹脂を用いた光学製品では、数 $\mu\text{m}$ ~サブ $\mu\text{m}$ の極微細かつ高精度な形状の成形が求められている。既存の離型剤や離型被膜を用いる方法では精度や耐久性が得られないため、微細形状のニッケル金型に高離型性を持つ新たな離型被膜を膜厚数十nmで形成する技術を開発し、離型剤を使用せずに、形状転写性や光透過性に優れた透明エポキシ樹脂で高精度のプラスチック成形を可能とする世界初の技術を開発する。	金型	財団法人いわて産業振興センター	(株)東亜電化	(株)東亜電化、(地独)岩手県工業技術センター、(財)いわて産業振興センター
3	秋田県	情報家電に搭載されるLED及びチップ部品等の製造に適しためっき技術の開発	高輝度LEDは、LED素子を搭載する基板表面のめっき種類や方法により反射率が影響され、反射率の要求性能を満たしつつ、長寿命で低価格のめっきが要求されている。また、微細化が進む「タタケ」等のチップ部品は、はんだ付け性付与のSnめっきで、製品同士が付着凝集する問題が発生している。これらの課題を解決するため、Agめっきの経時劣化防止や無電解Niめっき上への無電解Agめっき等の新規めっき量産プロセスを開発する。	めっき	財団法人あきた企業活性化センター	東電化工業(株)	東電化工業(株)、サイチ工業(株)、秋田県立大学、秋田県産業技術総合研究センター